

コロナ禍であっても
揺るぎない学校教育を！



ガガイモの種(左)と花

吾孀二中 ニュースレター

A to Z

墨田区立吾孀第二中学校

令和4年4月6日

ご進級・ご入学

おめでとうございます

4月6日に始業式、
4月7日第74回入学式
を挙ります。

今年は88名の新入生を迎えます。また、新2年生、新3年生は始業式でとても立派な態度を見せてくれました。新入生の手本となって、吾孀二中生らしさを思いっきり発信してください。



吾孀二中では、**今年も**

「花から笑顔を」を合い言葉に環境整備に努めていきます。生徒のみなさん、四季折々の花々に目を向けてください。また、自然の営みを知ることから自然科学の分野への興味・関心を高められるとよいですね。

4/6～4/15 は春の全国交通安全運動です。歩行、自転車の運転、車などお気を付けください。

ガガイモから学ぶこと…落ちた場所で咲こう…

校長 駒田 るみ子

新しい学校、あたらしい学級、初めて出会う友達や先生。4月は子ども達にとって、わくわくもすればドキドキもする季節です。楽しさがあふれる人もいれば、不安に押しつぶされそうになる人もいますね。そして、うまくいかないことにぶつかる。

今月号では、そんな時の話をします。ある植物の話です。(2・3年生の中には聞いたことがある人もいます。)

それは**ガガイモ**という植物です。荒川の土手などで知らないうちに皆さんも目にしているかもしれません。この植物は芋のような形のさやの中にたくさんのたねを準備しています。そしてタンポポのわたげのように風に乗って飛んでいきます。タンポポと違うのはその形です。平たくて先の方にギザギザがあります。なぜでしょうか。それは種が落ちたところで、しっかりとその土に根を張るためのものなのです。

この植物を知った時、私は感動しました。こんな小さな植物の知恵ですが、私たちにとって、とても励みになると感じたのです。この吾孀二中の仲間と出会って、最初は慣れなくて大変なこと辛いことがあるかもしれません。でもガガイモのようにその場所にまずしっかりとしがみついて努力をし、自分にできることを伸ばしてください。「与えられた場所で、自分をしっかりと根付かせ伸びていきましょう。」その場所を大事にして、頑張ってください。

うまくいかない時に、自分を振り返り課題を見つけ努力する人と、周りに原因を求めて自分を変えず周りを変えようとする人がいます。どちらも大事でしょう。しかしガガイモは、種が落ちた場所があまり肥沃な土地でなくても何とか芽を出そうと努力する力強さがあります。吾孀二中の生徒達にとって新しい場所・新しい環境が快適であることを望みますが、だからといってふかふかの土を用意することがみなさんの成長にとってよいことかというところではありません。まずは春の風に吹かれて、新しい世界に飛び込んでみてください。

保護者、地域の皆様、いつもありがとうございます。どうぞ本年度もご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和4年度学校経営方針（抜粋）

詳細はホームページに掲載します

75年目を迎えた吾嬬第二中学校は、脈々と受け継がれてきたよき伝統を守ると共に、新しい時代の中での教育の変化を敏感に捉え、教師も生徒も「楽しく主体的に学び、学校全体に「学ぶ意志」がみなぎる学校」として、本校で学べてよかったと実感できる学校づくりを行います。

学校教育目標

- ・自ら学び、正しい判断のできる生徒
- ・思いやりのある生徒
- ・心身ともに健康な生徒

<目指す学校の姿>

「生徒が主体の楽しく学べる学校」及び「保護者・地域から信頼される学校」

- 確かな学力の定着と向上を目指す学校（基礎・基本の定着と主体的・対話的で深い学びの実践）
- 豊かな心と健康な身体を育む学校（心の教育・体力向上及び健康教育の充実）
- 保護者や地域の信頼に応える学校（学校マネジメントを生かし開かれた学校づくりの推進）

生徒が毎日休まずに元気よく通学し、笑顔と活気あふれる教育活動が展開されてこそ、学校としての存在意義がある。「よい学校」とは、教職員集団が緊密に連携・協力して日々の教育活動にあたるとともに、保護者や地域住民が学校に信頼を寄せて教育活動に協力・支援することで、学校・家庭・地域が一体となって生徒を育てようとしている学校である。本校に通う全ての生徒が、教職員の指導によって自信と意欲をもち、生き生きと毎日の学校生活を送る姿が、保護者や家庭・地域に伝わり信頼される学校へとつながっていくものと考えている。

<目指す生徒の姿>

- 学ぶ意志をもち、授業や読書を通して、基礎・基本の習得を大切に励む生徒（知）
- 規範意識を身に付け、人権を尊重し、互いに高め合う心豊かな生徒（徳）
- 心身ともに健康で、困難なことにも粘り強く最後までやりぬく生徒（体）

義務教育後期3年間の中学校における教育の成果として、卒業時点で社会人として立派に通用する規範意識や人間性、社会性並びに確かな学力、健康な心身「徳・知・体」をバランスよく身に付けた人間の育成を目指す。

<目指す教師の姿>

- 子供が好きで、教えることに誇りとし、生徒に目を向けて教育活動を展開する教師（慈愛）
 - 高い見識と豊富な知識を有し、生徒の人間性を高めるべく教育活動に取り組む教師（研鑽）
 - 教育公務員としての自覚と責任の上に、自己の資質向上のための研修に励む教師（授業力）
- 教師の熱心な指導によって日々の学習において「分からなかったことが分かるようになった。」
「今までできなかったことができるようになった。」等、生徒に学ぶ楽しさや成就感や達成感を感じさせる。毎日登校することが楽しい学校を目指す教師集団とする。